

平成 23年度 学校 自己 評価 表 (1)

鳥取県立米子高等学校

中長期目標 (学校ビジョン)	生徒の能力と個性の伸張をはかりながら、基礎学力の育成と基本的生活習慣の確立に努め、地域に信頼され地域に貢献する人材を育成する。
-------------------	---

今年度の 重点目標	1 基礎的な学力の保障 2 進路実現のための進路指導体制の充実 3 基本的な生活習慣の確立 4 地域貢献活動の推進 5 国際交流活動および国際理解教育の充実
--------------	--

年 度 当 初					評 価 結 果 () 月		
評価項目	現状	具体項目	具体目標	具体方策	経過・達成状況	評価	改善方策
1 基礎的な学力の保障	○進路実現のための十分な学力がっていない。 ○進路にあった科目選択ができていない生徒もいる。	○基礎学力の定着のための取り組みの強化 ○きめ細かい指導を行い、学ぶことの楽しさや達成感を得させる。 ○効率的な教育課程の作成。	○家庭学習時間を増やし、定期テスト・実力テストへの参加科目を増やす。 ○全教員が授業評価を年2回実施し、授業公開週間に授業公開をする。 ○総合学科の特色を生かしつつ進路実現に対応できる教育課程の作成。	○生活[学習]時間調査を年3回実施し、学習時間の確保に活用する。 ○同じ評価項目・評価基準を設け、授業評価を行う。 ○各教員は授業公開週間に2度授業観察をする。 ○進路実現に即した平成24年度教育課程を7月中に作成する。			
2 進路実現のための進路指導体制の充実	○学年主導の部分が大きく、組織的な進路指導が十分機能していない。 ○進学指導、就職指導が十分体系化されていない。 ○総合部と進路部の連携が十分取れていない。	○3年間を通した計画的・組織的な進路指導体制を構築する。 ○進路情報交換会の充実。 ○キャリア教育との連携。	○推薦文指導・小論文指導講習会の実施し教員の指導力を高める。 ○各学年の進路情報交換会を充実させる。3年次生は年3回実施する。 ○進路未決定者を前年比半減させる。	○模擬試験・長期休業中の講習等へ積極的な参加を呼びかける。 ○進路に関する情報を整理し、生徒・保護者・担任等に適切な情報を提供する。 ○総合部・教務部と連携して産業社会と人間・総合学習・LHRの時間の有効利用を行う。			
3 基本的な生活習慣の確立	○遅刻・無断欠席など基本的な生活習慣に課題のある生徒もいる。 ○保護者や生徒会との連携が確実に取れつつある。	○「遅刻0の日」などの取り組みを通じてメリハリのある指導を行う。 ○保護者・生徒会との連携	○遅刻者数を前年比半減させる。 ○教職員・保護者・生徒会で、朝の声かけ運動を行う。年間100回以上実施する。	○朝起きる時間、勉強を始める時間、寝る時間の「3点固定」の指導を徹底する。 ○遅刻回数掲示板を活用しながら、朝読書の取り組みとも連動させ生徒を啓発する。 ○保護者のふれあい運動や生徒会の声掛け運動ともタイアップして行う。			
	○指導が浸透してきて、服装が乱れている生徒や規範意識の希薄な生徒の数が減少してきている。 ○正しい言葉遣いや挨拶がしっかりできない生徒も中にはいる。	○適切な挨拶、言葉遣いなど規範意識を身につけ、落ち着いた学びの場の形成に努める。 ○教員間で指導目標を共有し、毅然とした態度で指導に当たる。	○先語後礼を意識させる。 ○服装規定を徹底する。 ○学校全体として指導を統一し、粘り強く指導する。	○節度ある生活態度の育成を図る。 ○生徒との面談・保護者懇談等も利用し、粘り強く指導していく。 ○全職員が一致した組織的な指導を行う。			

評価基準 A:十分達成 B:概ね達成 C:まだ不十分 D:目標・方策の見直し
 [80%以上] [60%程度] [40%程度] [20%以下]